

御殿場市富士山火山防災マップ

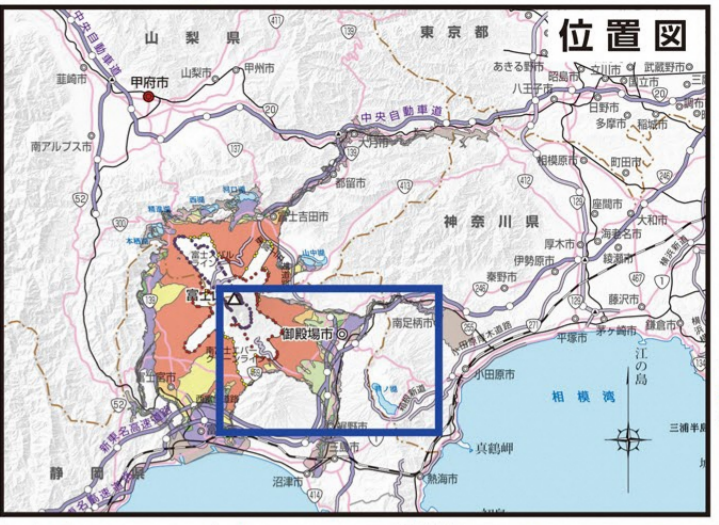
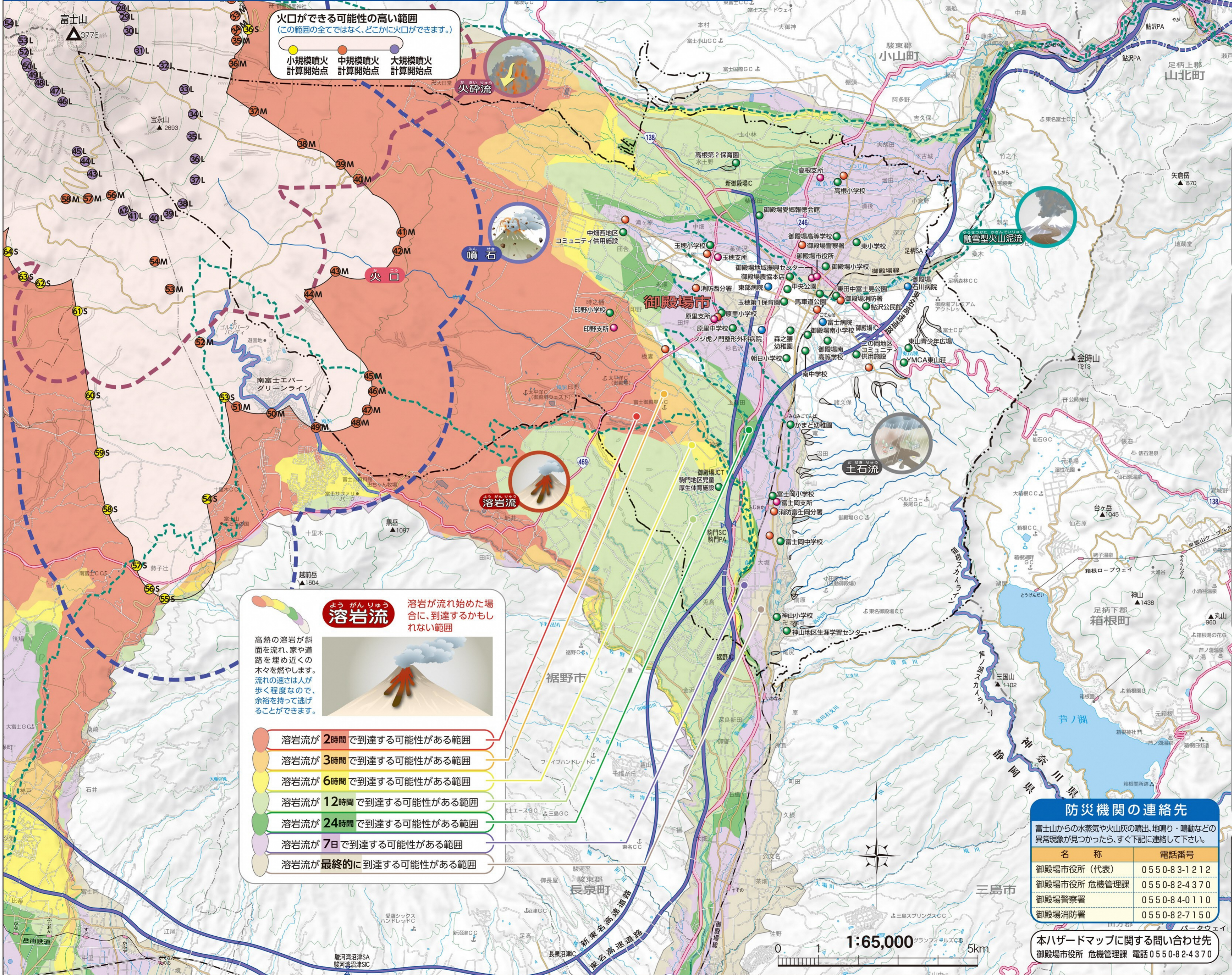
可能性
マップ

溶岩流・噴石・火砕流・融雪型火山泥流

この図は仮に富士山が噴火した場合に、溶岩流、噴石、火砕流などの影響が及ぶと考えられる範囲を全て重ねて描いたものです。全ての方向に同時に発生することを意味するものではありません。また、実際の噴火活動時には、このマップに示した範囲外に影響が及ぶ可能性もあります。

火口ができる可能性の高い範囲
(この範囲の全てではなく、どこかに火口ができます。)

● 小規模噴火 計算開始点
● 中規模噴火 計算開始点
● 大規模噴火 計算開始点



火砕流 (火砕流)

火砕流が発生したときに、高熱のガスが高速で届く範囲

高温の岩石・火山灰・火山ガスの混合物が斜面を高速で流れ下り、巻き込まれると死亡する場合があります。自動車より速く流れるので、早めに避難する必要があります。

噴石 (噴石)

火口から噴出した石がたくさん落ちてくる範囲

この範囲外にも、まれに、10cm未満の小石などが飛ばされることもあります。とくに風下では、マップに着色されていない範囲でも噴石に注意して下さい。降灰や噴石が多い時は丈夫な建物内にいましょう。やむを得ず外出する場合はヘルメットを着用して十分注意して行動しましょう。

融雪型火山泥流 (融雪型火山泥流)

雪が積もっている時に噴火しそうな場合に、沢や川には近寄らないようにする必要があります範囲です。(積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。)

雪が積もっている季節に噴火が始まると、火砕流などの高温の岩で雪が解けて、斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。おもに谷底など低いところを流れますが、あふれて広がることもあります。山頂付近から一気に流れ下るので早めの避難が必要です。

土石流 (土石流)

火山灰が厚く積もっている場合には、大雨警報が出た時に避難する必要があります範囲を示しています。火山灰が厚く(10cm以上)積もっている地域では、少しの雨でも土石流が発生しやすくなりますので注意しましょう。

(土石流災害危険渓流および土石流危険区域調査要領(案)に基づいて、抽出した渓流及び汎濫範囲を示しています。)

溶岩流 (溶岩流)

高熱の溶岩が斜面を流れ、家や道路を埋め近くの木々を燃やします。流れの速さは人が歩く程度なので、余裕を持って逃げることができます。

- 溶岩流が2時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が6時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が最終的に到達する可能性がある範囲

防災機関の連絡先

名称	電話番号
御殿場市役所 (代表)	0550-83-1212
御殿場市役所 危機管理課	0550-82-4370
御殿場警察署	0550-84-0110
御殿場消防署	0550-82-7150

本ハザードマップに関する問い合わせ先
御殿場市役所 危機管理課 電話0550-82-4370

凡例

● 避難地・避難所	— 鉄道
● 市役所・支所	— 高速道路
● 消防署・警察署等	— 国道
● 救護病院	— 主要道路
	— 有料道路

